





ずれますが、黒がポーンを取り返す間に展開を急ぎ、センターへの圧力を固めるアイデアです。

### 『センターが重要』

#### 8... Qa5

ここからcポーンを取る手が見えますが、すべて白からのさそいです。8... Nxc3? 9. Qxd8+ Kxd8 10. Bb2 Na4 11. Bxg7 白優勢。

8... f5!? は試したい変化です。以下、9. Qc2 0-0 10. e4 fxe4 11. fxe4 Qh4+ 12. g3 Qf6 13. Bg2 Qxc3+ 14. Qxc3 Nxc3 15. Bf4 ヤコビッチ対ユスポフ (Yakovich-Jussupow 1993) ほとんど互角。

#### 9. e4! Ne7

ポーンは取れません。9... Nxc3? 10. Qd2 Qxc5 11. Bb2 Na4 12. Rc1 も、9... Qxc3+? 10. Bd2 も白優勢。

#### 10. Be3 0-0

ポーンを取る 10... Qxc3+ は、11. Kf2! と用意した場所にキングを逃がして白やや優勢。10... Nxc3? は 11. Qd2! で白優勢。

#### 11. Qb3 Qc7 (図3)



fen:rnb2rk1/ppq1nppp/4p3/2P5/4P3/PQP1BP2/6PP/R3KBNR w KQ - 0 12

生徒はメイン・ライン (青色) を覚えましょう

ここから白はキングサイドのピースを、黒はクイーン・サイドのピースをそれぞれ展開して中盤の戦いが始まりますが、センターを固めた白がやや良しの局面でしょう。

黒 11... Qc7 の代わりに 11... Nd7!? と c5 をすぐにねらうのは、12. Bb5 a6 13. Bxd7 Bxd7 14. Ne2 Bc6 15. 0-0 まで白優勢。

以下、実戦例として元世界チャンピオン、アナン・ド (インド) の名人芸をご紹介します。

12. Bb5 Nec6 13. Ne2 Na5 14. Qb4 e5 15. 0-0 Be6 16. Nd4!! (図4)



fen:rn3rk1/ppq2ppp/4b3/nBP1p3/1Q1NP3/P1P1BP2/6PP/R4RK1 b - - 0 16

ナイトを捨ててポーンで局面を支配します。白が攻勢でわずかにリード。

この後、黒は有効な反撃手段を見つけられず、ずるずると悪くなっていきます。

白はナイトを捨てて大きなスペースとセンター・ポーンを手に入れました。

16... exd4 17. cxd4 Nbc6 18. Qc3 Ne7 19. Rfd1 Rad8 20. Bf2 a6 21. Bg3 Qc8 22. Bf1 b6 23. Rab1 Nb3 24. Rxb3 Bxb3 25. Qxb3 bxc5 26. d5 Ng6 27. Qb6 f5 28. Bxa6 Qd7 29. Bb5 Qf7 30. exf5 Qxf5 31. Qxc5 Rc8 32. Qd4 Rfd8 33. a4 (図5)



fen:2rr2k1/6pp/6n1/1B1P1q2/P2Q4/5PB1/6PP/3R2K1 b - - 0 33

白のダブル・ビショップと2つのパス・ポーンを見て黒は戦意を失いました。

1-0

アナン・ド対ワン・ハオ 2011年 (Anand-Wang, Hao)

(紫色の説明は授業後に補充しました)